

大樋橋西高架橋ってどうやってつくられたか知っていますか？

令和7年2月4日



一般国道2号大樋橋西交差点の交通混雑の緩和を目的として、令和2年度から交差点の立体交差化工事を進め、令和5年2月23日に国道2号本線の立体化が完了しました。

この大樋橋西高架橋がどのように作られたかご存知でしょうか？



大樋橋西交差点は12万台／日の車が通過して慢性的な渋滞が発生していました。そのため国道2号と国道180号の交差点上に橋を架け、立体交差化による渋滞緩和を目的に工事を行いました。

この新しい橋梁を架ける工事は、全国で初めてのECI方式で施工しました。

”

ECI方式とは・・・

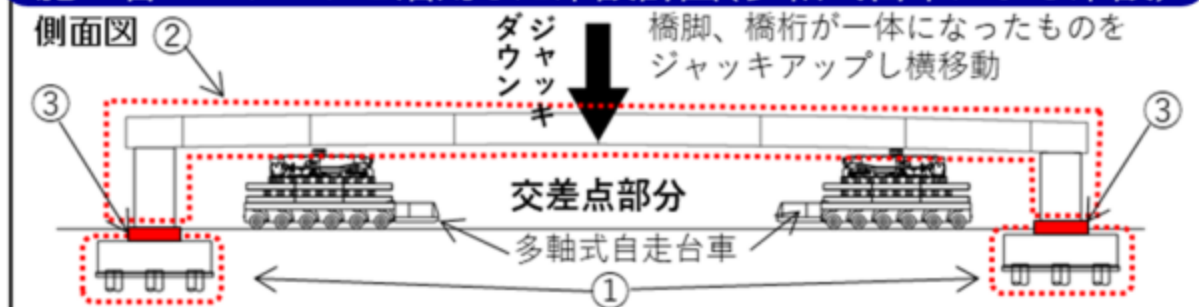
設計段階から施工予定者と技術協力業務を締結し、現場の課題に対し施工者としての提案を行う方式です。

施工者の技術力とノウハウを設計段階から投入することにより工期短縮だけでなく工事の品質向上に寄与できます！

“



施工者のノウハウを活用した架設計画(多軸式台車による架設)



【架設計画】

- ① 基礎を設置
- ② 交差点外で橋脚、橋桁が一体になるよう組み立て、一括してジャッキアップし、多軸式自走台車を用いて夜間一晩で交差点内に移動
- ③ 橋脚と予め設置した基礎を接合する

【メリット】

- 一晩で架設でき、工期を短縮
- 規制による現況交通への影響が少ない

幹線道路である国道2号は夜間も交通量が多く、規制時間を最小限にするために、あらかじめヤードで組み立てた橋梁を多軸式特殊台車を用いて**一晩**で移動させて設置しました。

令和3年9月14日



ヤード内で組立

令和3年9月15日



翌日！

上部工一体の橋梁



多軸式特殊台車

橋梁は橋桁と橋脚が一体となっており、あわせるとなんと615tもあります。これを多軸式特殊台車4台で持ち上げて移動させ、交差点をまたぐ位置に設置しました。

22時に交差点の交通規制を開始して、約5時間で橋を設置し、翌朝6時までに規制を解除しました。

まさに一晩で橋を架けた工事でした！



ナットも手のひらより
大きい！！

事前に工事していた台座のボルト（アンカーボルト）に橋脚を固定しているところです。

1つの橋脚につき20本あるボルトに、2つの橋脚をピッタリと同時に通すのはまさに職人芸ですね！



一晩で架設された橋梁です。（R3.9.14架設）



一晩一括架設の様子は、岡山
国道事務所のYouTube
動画で公開しています。
こちら是非ご覧ください！

[動画はこちら！](#)



この工事については、2024年世界鉄鋼協会のイノベーション大賞を受賞しました。
詳しくは[こちら](#)！

完成により国道2号大槌橋西交差点の渋滞は解消しましたが、
西側の古新田交差点に交通が集中するようになり渋滞しています。

なお、古新田交差点を含む岡山・倉敷間の国道2号の渋滞解
消を目的に『岡山・倉敷立体（Ⅰ期）』事業で交差点立体化に
取り組んでいます。